

授業のウェブページ

- 「講義ノート」は学内教員のみだそうです。
- <https://lunar-origin.github.io/GPU-psycho/>



1



2

#02 ヒトはそれぞれの 世界を生きている

心理学@岐阜薬科大学2020

3

メニュー

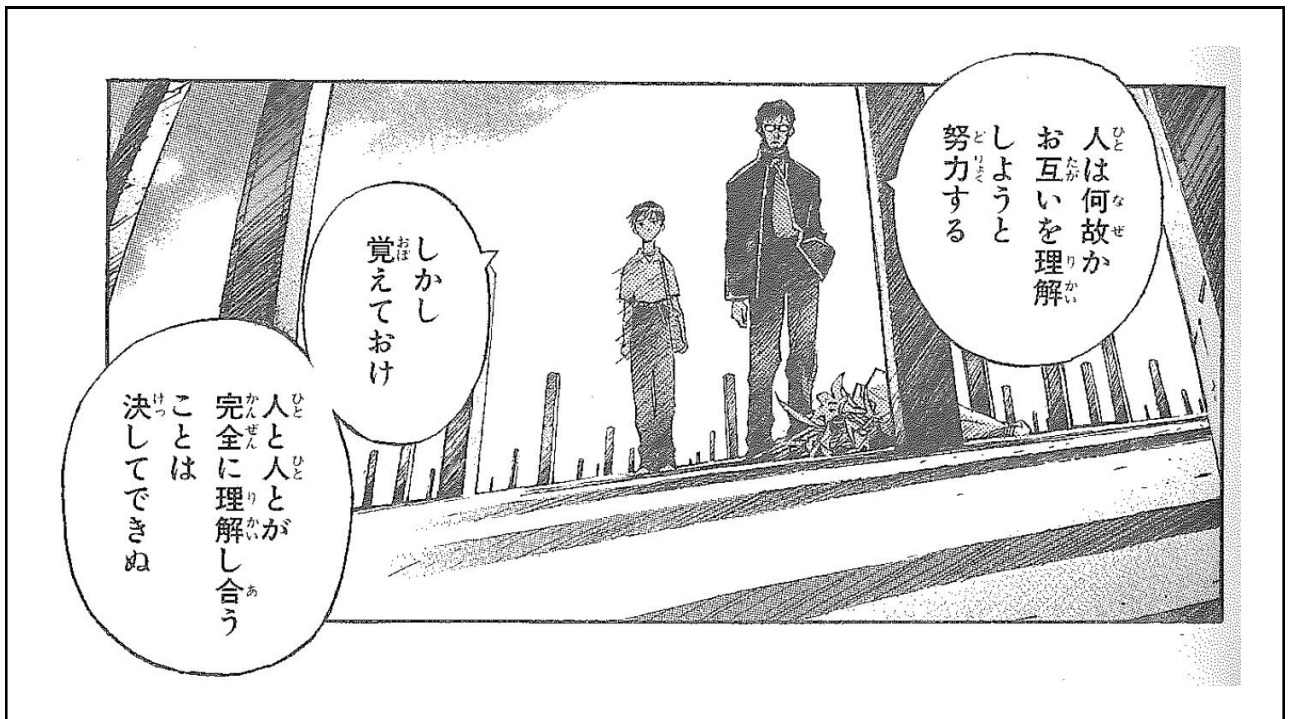
- 海外の実験を1つ
- 交通安全の心理学
- ないのにある

4

“ある”のに見えていない

- 課題を与えられずに動画を見た場合はゴリラに気づく
- 非注意による盲目状態 (inattention blindness)
 - 同じものを見ていても、「注意」が向いていなければ見ていないのと一緒に
 - 同じ時刻、同じ場所にいながら、「別の世界」を見ている
- 例：友人との旅行の思い出、授業の理解

5



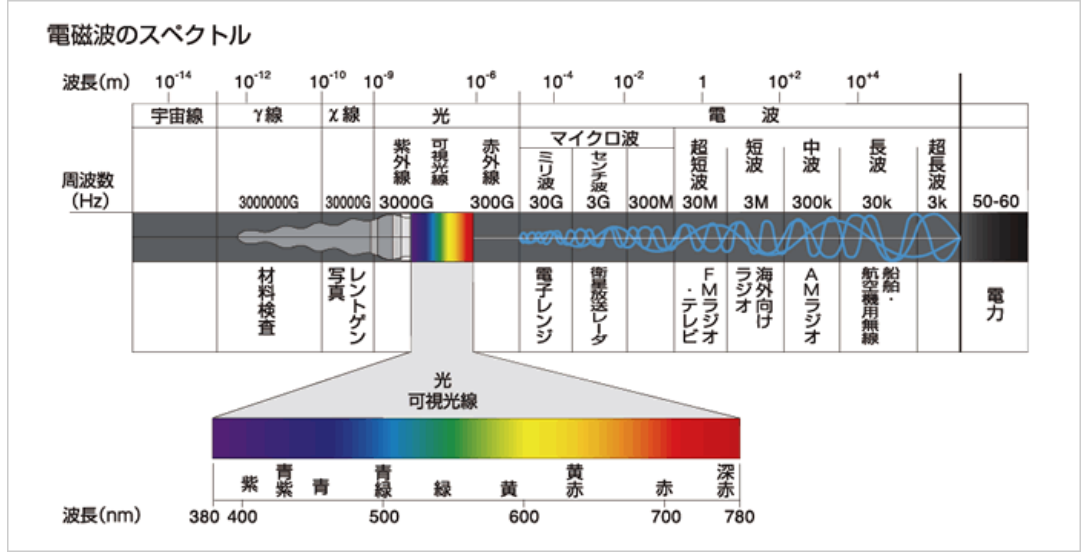
6

環世界（フォン・ユクスキュル）

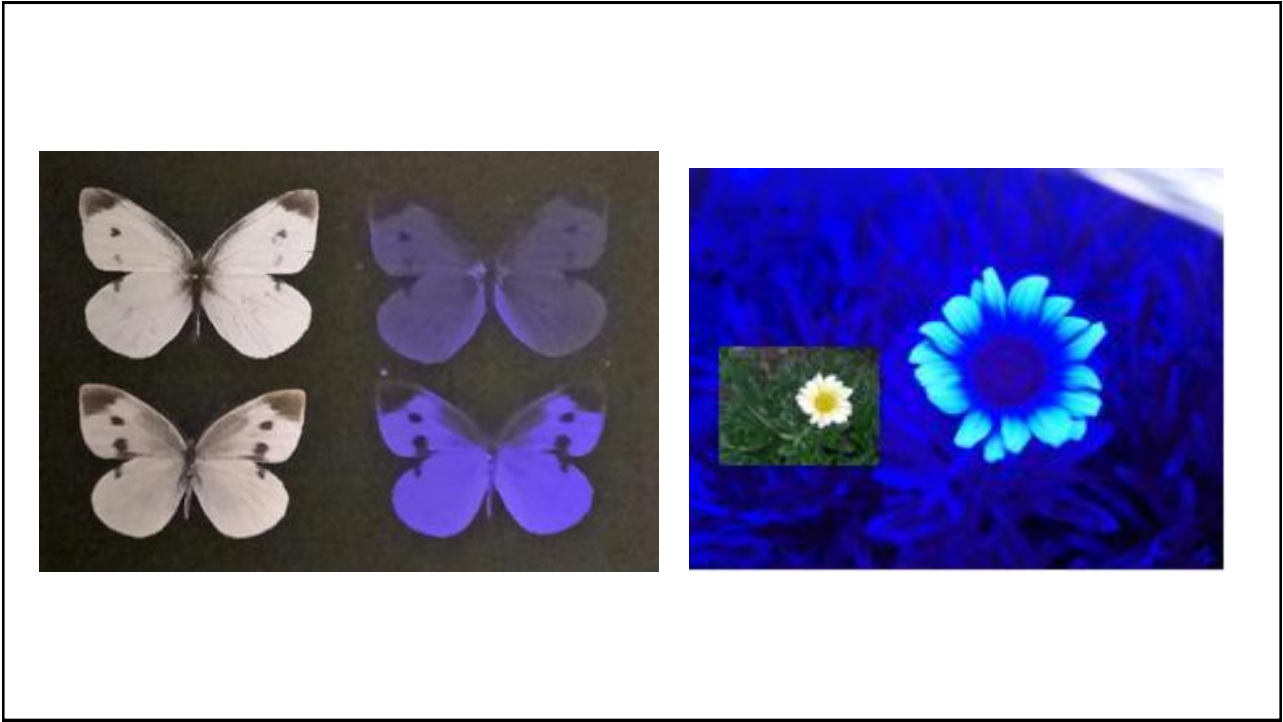
- 私たちが生きている世界は，客観的な環境ではなく，主体に特有なものである
 - 異なる種は「別世界」を生きている
- 例：イヌは視覚ではヒトに劣るが，優れた聴覚と嗅覚がある
- 例：マダニは視覚と聴覚がないが，触覚，特に嗅覚と温度感知が優れている
- 個体でも成長・発達によって認識世界が変わる

7

可視光

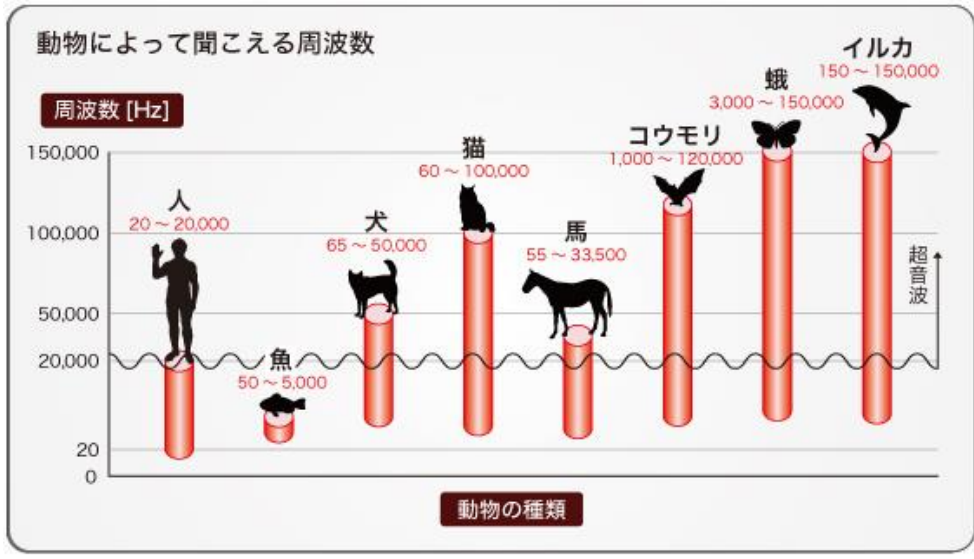


8



9

可聴域



10

交通：他者同士の交流の日常的な場

- 交通ルールは、他者同士の「共通世界」の役割を果たす。
- 交通の安全・危険は、注意の性質やその限界が関わっている。
- 交通には、広範な注意が必要。
 - 自分の注意
 - 「他者の注意」への注意

11

バイクは事故しやすい

- 平成28年死亡者数（平成29年版交通安全白書, 内閣府）
 - 自動車事故：1338名 死亡率0.32%
 - 二輪車事故：684名 死亡率1.48%
 - 無茶な追い越し, 前方不注意, バイクを煽る車の増加
- 右折車は対向車よりもバイクを相対的に予期しにくい
 - 「ゴリラ」のように予想外のものを見落とす傾向
 - ドライバは「車の形状」がよく見える心理状態になっている

12

飲酒

- 「ゴリラ」により気づきにくくなる
 - 予期しない対象を察知する能力を低下させた？
 - 課題そのものの遂行能力を低下させた？
- 危険察知，操作に遅れが生じる
 - お酒の強い・弱い個人差は関係ない
- 失敗を意識する能力の低下
 - 脳内の危険反応が弱まる
 - 車間距離が短くなる



13

スマホ運転（＝脇見運転）



- 様々な鈍化は飲酒に匹敵
 - ただ，車間距離は飲酒群・正常群よりもとる（あくまでも実験では）
- 合法である“ハンズフリー”は？
 - 手持ちと変わらない注意力の低下を引き起こす
 - マルチタスクの状態となり，それぞれの作業の質が落ちる
 - 運転操作
 - 音声の聞き取り
 - 意味内容の理解
 - 話す

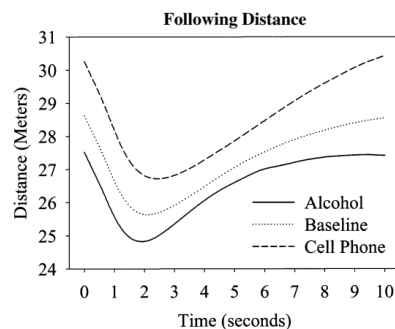


Figure 5. The following distance profile.

14

同乗者と話すのは？

- 運転能力への影響はほぼゼロ
- 電話よりも聞き取りやすい
- 同乗者の注意力も運転の助けになる
- 同乗者は運転者の状況を理解できる
 - 運転が難しい場所では口出ししない

15

“ある”のに“ない”を再確認してみよう

- 友達とテキストに会話してください。
- その際、スマホで会話を録音してください。
- じゃあ、スタート
- 録音した会話を再生してみてください。どう？

16

今日のまとめ

- 私たちは，主観的な世界でしか生きられない。
 - 碇ゲンドウは正しい。。。。
- 私たちは，気づき屋でもあり，見落とし屋でもある。
 - 注意は諸刃の剣
- 注意の観点からすれば，飲酒運転とスマホ運転（ながらスマホ）は自殺行為に等しい。

17

飲酒の影響に関する補足1

- アルコール摂取により，ゴリラの検出率が低くなる (Seema et al., 2006)
 - 被験者は何を飲んだかを教示されるが，ウソの条件もある
 - 例：Told alcohol & Got tonic = 「アルコールを飲んでもらいました」と教示されたが，実際に飲んだのはソフトドリンク

Table 1. Percentage of subjects who noticed the gorilla by condition

	Got alcohol (%)	Got tonic (%)
Told alcohol	18	42
Told tonic	18	50

18

飲酒の影響に関する補足2

- ベースラインとの比較 (Strayer et al., 2005)
- 飲酒群：ブレーキを強く踏む（急ブレーキになりやすい）
- 通話群：ブレーキの反応に遅れがある

Fig 3

- 飲酒群：速度がやや下回る
- 通話群：速度の回復が遅い

Fig 4

- 飲酒群：車間距離が短くなる
- 通話群：車間距離が長くなる

Fig 5



Figure 1. A participant talking on a cell phone while driving in the GE-SIM driving simulator.

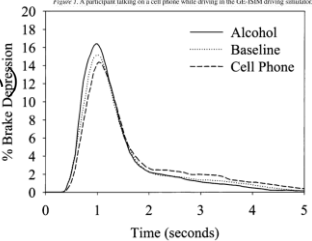


Figure 3. The braking profile.

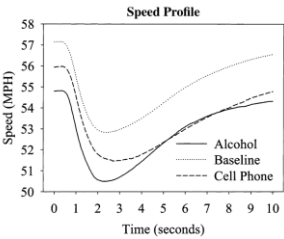


Figure 4. The speed profile.

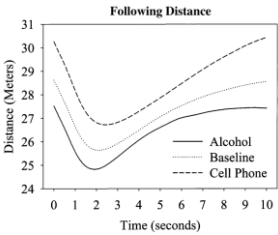


Figure 5. The following distance profile.